

颯走

(きつそう)

校部会
高技会
川上競技部
寝屋川陸上OB・OG

会報 第23号
2021年7月15日発行

<http://www.neyagawa-rikujyo.net>

「悔しさをバネに」

会長 奥田二三夫(22期)

OB・OG会の皆様には
益々ご清祥にてご活躍のこ
ととお喜び申し上げます。

さて、今年は史上初めて

延期された東京オリンピック
の年です。緊急事態宣言
は解除されましたが東京は
感染者減少に至っていません。
それでもオリンピック
開催に向け準備は進んでお
り、陸上競技は最終選考会
である日本選手権が先日大
阪でありました。皆様もご
存じと思いますが、100
mで多田修平選手が優勝し
て代表になりました。多田
選手は世界選手権の400
mリレーで銅メダルを獲得
するなど注目を集めた選手
ですが、昨年までは大きな
レースではことごとく上位
入賞が果たせず悔しい思い
を重ねてきました。それで

も諦める事無く努力を重ね
た結果、今年になって調子
が上がり今回の結果につな
がりました。そして、最終
日には同じ大阪の小池祐貴
選手が200mで優勝し代
表になりました。大阪から
2人のオリンピック代表が
出るとは喜ばしい限りで
す。本番での活躍を祈りま
す。

話は変わりますが、寝屋
川高校の後輩も偉業を成し
遂げてくれました。日本選
手権の1週間前に行われた
近畿IHで若松 怜君が八
種競技で2位となり全国I
H出場を決めました。実に
30年ぶりの快挙です。彼も
昨年の夏は、あと少しのと
ころで全国大会出場を逃し
悔しい思いをしていまし
た。その思いを胸にトレー

ニングを積んできた成果が
現れたと言えるでしょう。
そしてもう一つ嬉しかった
ことは、やり投で成田賢信
君が近畿IHへ出場したこ
とです。彼は1年生の時か
ら若松君が近畿大会へ出場
する度に、常に付き添って
世話をしてくれていまし
た。それが今年に入って記
録を伸ばし、若松君を上回
す。ご了承をお願いします。



若松 玲君



成田 賢信君

る記録で近畿IH出場を果
たしたのです。健闘を称え
たいと思います。
余談になりますが、今年
の全国IHが開催される福
井県宮上競技場は、私の
2学年上の村田一郎先輩が



今年卒業して新たなOB・OGとなった73期生たち

今年の現役の記録

1月11日
大阪高等学校駅伝競走大会
ヤンマーフィールド長居・長居周回コース

男子200m, 男子800m, 男子5000m, 男子400mH, 男子走り高跳, 女子

3月21日
2地区第7回記録会
枚方

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投

4月10日・11日
大阪陸協第2回記録会
ヤンマーフィールド

男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子110mH, 男子走り高跳, 男子走り幅跳, 男子砲丸投, 男子円盤投, 男子やり投

4月4日
大阪陸協第1回記録会
万博記念

男子200m, 男子800m, 男子5000m, 男子400mH, 男子走り高跳, 男子走り幅跳, 男子砲丸投, 男子円盤投, 男子やり投

4月17日・18日
大阪高校春季地区別記録会
(1・2地区)
万博記念

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

5月28日～31日
大阪高校陸上競技対校選手権大会
ヤンマーフィールド

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

6月6日
2地区第2回記録会
枚方

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

近畿IH出場

やり投げ 成田くん
八種競技 若松くん

女子100m, 女子800m, 女子1500m, 女子100mH, 女子4x100mR, 女子走り高跳, 女子走り幅跳, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

男子8種競技, 男子砲丸投, 男子円盤投, 男子やり投

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

6月17日～20日
近畿高校陸上競技対校選手権大会
ユニバー記念競技場

男子やり投

男子8種競技, 男子砲丸投, 男子円盤投, 男子やり投

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投

男子100m, 男子200m, 男子400m, 男子800m, 男子1500m, 男子5000m, 男子400mH, 男子3000m, 女子砲丸投, 女子円盤投, 女子やり投



強化コーチとして指導中の山口先生

顧問 山口周
はじめまして。今年度、寝屋川高校に赴任しました。英語科の山口周と申します。私は中学1年生の頃から走幅跳を続けています。同時に、大阪の跳躍強化コーチとして、高体連強化選手の手育成サポートをして参りました。顧問として、部員達に『陸上って楽しい』ということを知ってもらいたいと思っています。同時に、一番伝えたいことは『感謝の気持ち』です。クラブ活動ができる環境、家族に

顧問は内海先生と山口先生との2人体制になりました。感謝する心を育て、周りから応援されるような人になれるようにと願っています。私の夢が部員の夢になり、そして部員の夢に周りの人を巻き込めるような人になることを願っています。OB OGの皆様、頂いたご縁を大切に、寝屋川陸上競技部に貢献できるように努めます。今後ともどうぞ末永くよろしくお願いたします。

顧問・現役生のあいさつ

主将 石上 蒼

昨年度とは違い、今年度はインターハイ等の試合を数多く実施していただいていることを大変うれしく思っています。本格的なシーズンに入ると同時に、世代交代の時期となりました。私自身まだまだ不慣れなことや不安なことがありますが、部員全員で力を合わせてこの寝屋川高校陸上競技部を盛り上げていきたいと考えていますので、これからもよろしくお願いたします。

副主将 矢部 稔也

コロナ禍の中、無事にインターハイを終えることができ、世代交代の時が来ました。インターハイで感じた悔しさを先輩方への憧れをバネに、これからの練習や、先輩たちにも劣らないチーム作りに励みたいと思います。また、支えてくださる方々や、このコロナ禍に大会を開催していただけることへの感謝を忘れないよう活動していきます。

副主将 岡山 来実

コロナ禍で約1年間活動してきましたが、たくさん制限があり、先輩方が大切にされてきたものをどこまで私たちが感じ取ることができたのかわかりません。不安もありますが、先輩方が大切にしてくださる陸上競技部を、固定観念にとらわれない、私たちがからこそできる、今よりもいいチームに、そして大きな大会で結果を残すチームにします。

副主将 柿沼 あぐり

昨年同様、限られたことも多い中での部活動ですが、先生方や周りの方々のご理解とサポートがあり、生き生きと部活動に取り組んでいます。新チームでは先輩方から受け継いだ伝統を大切にしつつ、各々の個性が輝くよう、高みを目指し一丸となつて練習に励んでいきます。

若松くん全国大会出場

会長 挨拶でも報告されましたが、6月17日から兵庫県ユニバー記念競技場で開催された近畿IHで、若松 玲君が八種競技で2位に入賞して全国IHへの出場が決まりました。川高校からの全国IH出場は1991年に10mHの上原隆明さん(44期)以来ですので、30年ぶりの出場となります。

若松 君は、近畿IHでは100mと110mHで自己最高記録を出しています。特に100mは10秒85と寝屋川高校歴代2位の好記録です。しかし、歴代2位の好記録に届いていない種目もあり、全国IHではさらなる飛躍を期待します。目もありませんので、全国IHではさらなる飛躍を期待します。

全国 IHは、7月28日から福井県9・98スタジアム(桐生選手が日本人初の9秒台を記録した競技場)で開催され、八種競技は7月28・29日です。

『田舎暮らし』と『体力作り』

合川 宏(26期)

寝屋川から滋賀県高島市のびわ湖近くに移住し『田舎暮らし』を始めて9年。

土地を購入した10年前には一面背丈ほどある雑草に覆われ、汗だくになりながら草刈りしたのが懐かしい思い出です。『田舎暮らし』って何なんでしょうね。自然が豊かで緑の多いところでの暮らしなんでしょうが、私にとって『田舎暮らし』とは、自然相手に必ずやらなければならない仕事(作業)が日々あってそれをこなしながら暮らす事ですかねえ。



日々やらなければならぬ作業ってたいそうですが、例えば夏の草取りや冬の雪かきです。自然相手です。自然相手に草ははえまじり雪も降ります、日々やるべきことをきちんきちんとやることで気持ち良く暮らしていけるんだと思っています。

そんな我が家での妻の作業は、畑での野菜果物作り・庭木の剪定や芝刈り等の造園が主で、いつも『二人の楽園』を綺麗に保ちながら新鮮で美味しい野菜を食卓に提供してくれています。

私の方は、生活しやすくする『インフラ整備』担当です。妻に農作業用の納屋を建てたり、土や砂利や薪といった資材を円滑に一輪車で運ぶための遊歩道を敷地内に作ったり、庭に築山や小川を作ったり、畑の治水工事をしたりとこの10年でも色々創作してきました。ちなみに遊歩道の総延長は100mを超えました

(笑)。

私のもう一つの担当は『薪ストーブ』関係の作業です。我が家の冬の暖房は基本『薪ストーブ』です。我が家を常に暖かい快適空間に保つためシーズン(10~4月)で3~4トンの薪を燃やします。薪は、春先に近くに山に入って原木を伐採して軽トラで持ち帰り、ストーブ幅に切り、薪割りし、薪棚で2年間乾燥させて『良質の薪』にします。

ということ『田舎暮らし』には何をやるにしても肉体労働が必要となります。それで、この『田舎暮らし』を始める1年前に『体力作り』の一環としてラン



ニングを始めました。滋賀の走友会にも所属し多くのラン先輩にご指導いただきながらフルマラソンレースも走れるようになりました。

『体力作り』として始めたランニングは、健全な心身を維持するだけでなく人間関係も広がり人生の大きな『引き出し』を私に与えてくれました。ランニングは始めて10年以上となりましたが、脚力だけでなく体幹と上体の強化も必要だなあと感じ2年前から『ジム』にも通い始めました。

近頃は胸板が厚くなり、アンダーシャツがパンパンで着れなくなりサイズアップしてやっと楽になりました(笑)。最初30回しか出来なかった腹筋も300回出来る様になったのは嬉しいですねえ。『田舎暮らし』のために始めた『体力作り』

ですが、今では欠くことのできない日々の重要なルーチンになっています。



事務局からお願い

OB・OG会は皆様からの会費・寄付で現役生への援助や会運営・会報発行を行っております。郵便振替用紙を同封しておりますので、令和3年度会費・寄付の納入をお願いいたします。

「颯走」では自薦他薦を問わず記事・情報を募集しております。記事・情報のほか、住所変更や問い合わせ等は事務局までご連絡ください。

事務局メール : info@neyagawa-rikujo.net

編集後記

5月の大雨で枚方公園駅近くで土砂崩れが起きたと報道がありました。そこは13期竹林先生の墓所です。で気になって見てまいりました。幸い先生のお墓からは外れた場所でしたので、問題ありませんでした。



左端石垣手前が竹林先生のお墓

また、昨年お亡くなりになった14期田中先輩から、1964年の東京オリンピックの時は電車を乗り継いで東京まで行って、陸上競技を間近でたくさん見たとお聞きしていました。今回は間近で見ることが難しいですが、身近にオリンピックを感じるチャンスですので、テレビでタップリと観戦したいと思えます。